

未来へ向かって  
〜ねりまの道路〜

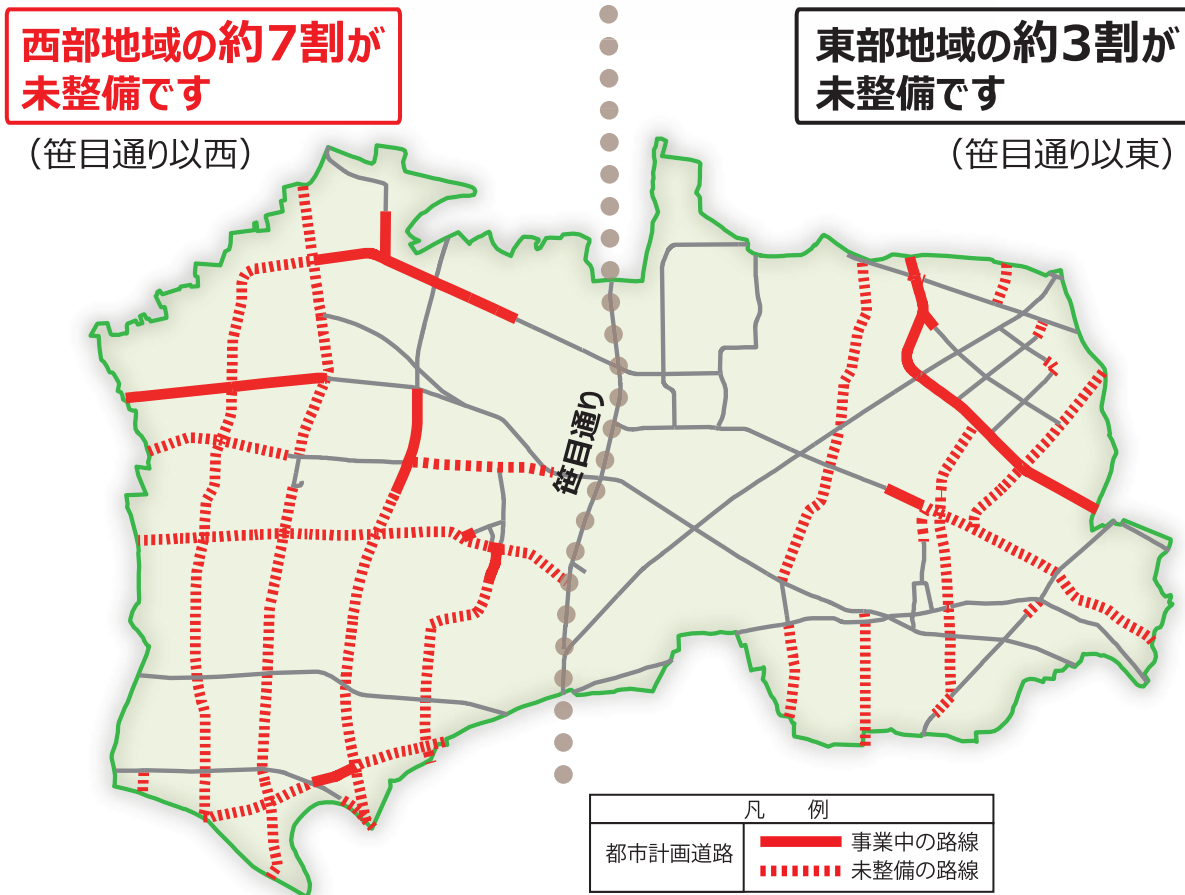
 練馬区

平成28年1月

# 練馬区の道路の現状

- 東京都内の都市計画道路の整備率は **約 62%** (23 区平均では約 64%)
- 練馬区内の整備率は **約 50%** と低水準
- 特に、区西部地域は **約 30%** と整備率が低い

区内の都市計画道路整備状況



そのため  
たくさん  
の問題が  
発生して  
います

## ■ 区民の皆様からも道路等のインフラ整備が望まれています

平成 27 年度 区民意識意向調査では、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 (23.4%)」が、最も力を入れてほしい施策として選ばれています。

第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	高齢者福祉	交通安全対策	子育て支援	医療環境の充実

# 1 道路交通網の整備が不十分なため移動が不便

道路整備が進んでいない箇所や、主要な幹線道路でもネットワーク化されていない箇所が多くあります。

部分完成でネットワーク化されていない放射7号線（大泉学園町）



# 2 交通渋滞が慢性的に発生

練馬区	東京都平均	全国平均
15.9km/h	16.8km/h	35.1km/h

出典：H22道路交通センサス

- ※国道、都道を対象に集計
- ※一般に10km/h以下を渋滞、20km/h以下を混雑と呼んでいます。
- ※区内には、10km/h以下の道路が多くあります。



# 3 道路が狭く往来が危険

歩行空間が十分に確保されていない箇所が多くあります。



# 4 地震や火災発生時の危険度が高い

幅員が狭小なため、いざという時の消防活動が困難な区域や避難路として危険な箇所が多くあります。



# 練馬区の道路の考え方

～新しい成熟都市を目指し、安全・快適な都市の実現に向けた基盤整備～

西東京市側の道路整備が終わっている未着手の補助156号線



都市計画道路の整備の遅れは、防災性や安全性に支障をきたすばかりでなく、東京全体の交通ネットワークから練馬区が取り残され、今後の区の発展を阻害することにもなります。

安全・快適で、活力に満ちた都市を実現するためにも、着実に整備を進める必要があります。

## 道路整備の視点

### 1 交通を分散し、交通渋滞を解消します



道路のネットワーク化により、交通を分散させ、交通渋滞を解消します。

### 2 歩道や自転車道の整備により、それぞれの通行を確保します



自転車専用の通行帯により、歩行者も自転車も、安全性や快適性が向上します。

### 3 街路樹の整備により、みどりのネットワーク化を図ります

並木が整備された道路の例



緑が多く幅広で歩きやすい歩道



### 4 無電柱化により、電柱の倒壊や断線による危険を回避します

電柱が多い道路では地震等による倒壊の危険性が高い



### 5 消防活動を容易にし、避難路を確保します

消防活動や避難に大きく影響する可能性がある狭い幅員の道路（小竹町）



### 6 交差点の見通しを確保します

見通しが悪く出合頭に衝突等の危険が大きい



# 練馬区の道路網が整備されると

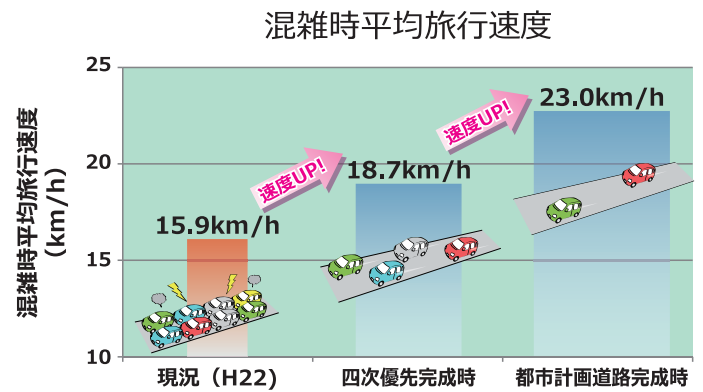


補助172号線

## 1 交通渋滞が緩和され、移動がスムーズになります



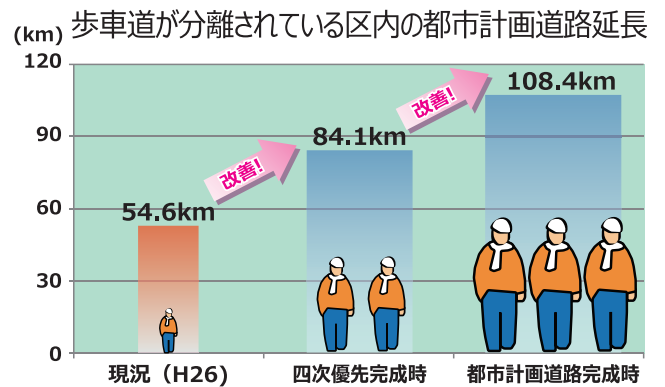
笹目通り（谷原交差点北側）



## 2 歩道と車道を分離し、安全な歩行者空間が生まれます



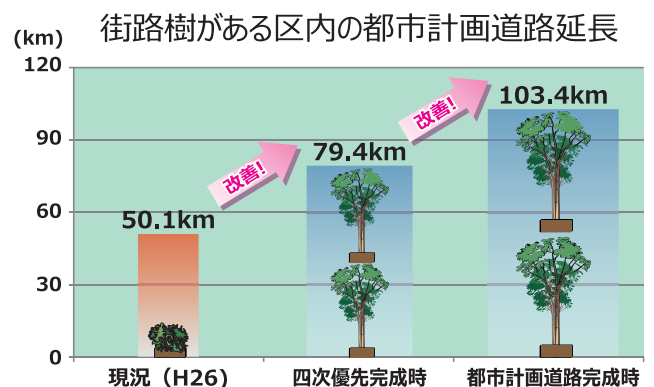
光が丘東大通り



## 3 街路樹により、身近に豊かなみどりの空間が生まれます



光が丘東大通り



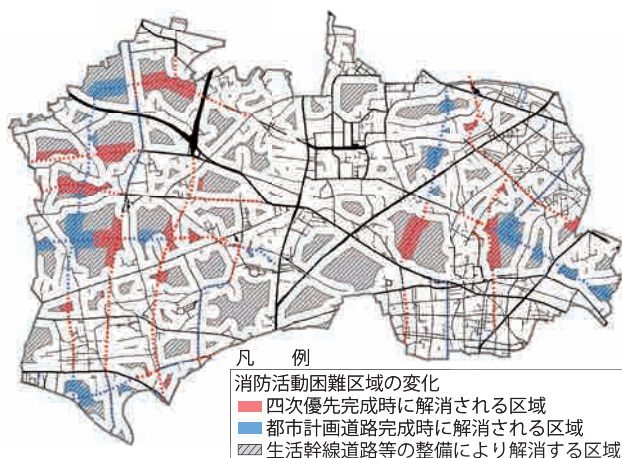
## 4 電柱が無くなり、防災性が向上します

無電柱化により防災性や快適性が向上した道路（補助132号線）

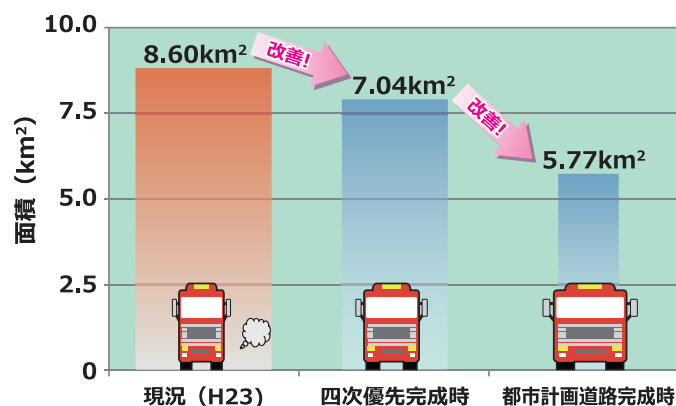


## 5 道路が広がると、消防活動がしやすくなります

将来の消防活動困難区域図



消防活動困難区域面積



## 6 安全で見通しの良い交差点となります

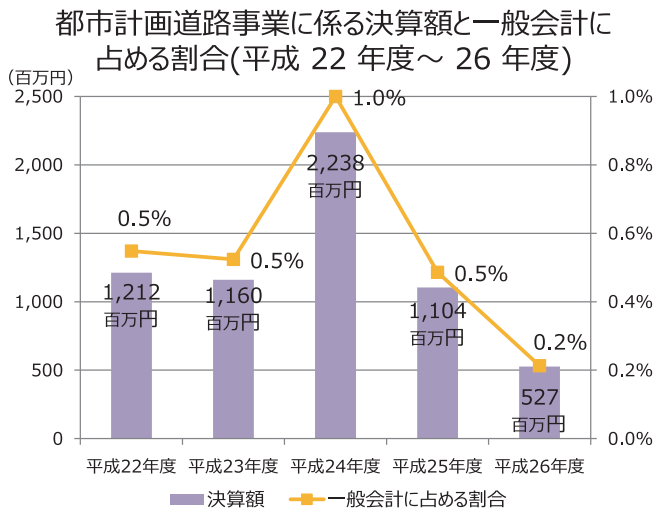
安全性の確保された交差点



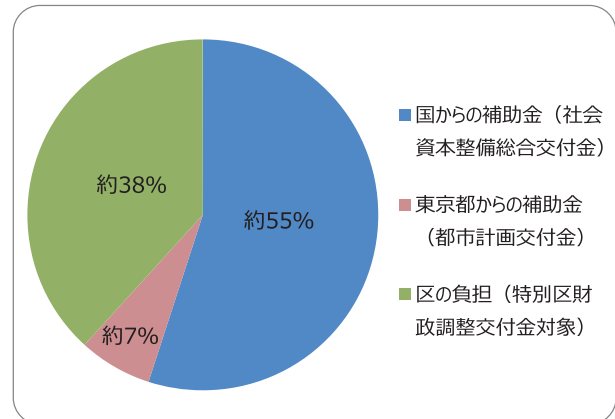
- ※掲載されている値は、練馬区内の都市計画道路が計画通りに整備された場合の区内の状況を示したものです。
- ※四次優先完成時：東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）（案）に掲載されている区内の優先整備路線が完成した時
- ※都市計画道路完成時：都市計画決定されているすべての都市計画道路が完成した時
- ※消火活動困難区域：幅員6m以上の道路から140m以遠の区域（消防車が通行できる道路からホースが届く範囲）

## ●都市計画道路の整備費について

- 都市計画道路の整備には、1 mあたり、おおむね 900 万円の費用がかかります。  
(※実績より試算)
- 整備費用には、国や東京都からの補助金などを活用しています。
- 区では、平成 22 ～ 26 年度の5年間で、年間約 5 ～ 22 億円の整備費を支出しています。
- 整備費用は、区の一般会計年度予算に対して、年平均で約 0.5%です。



都市計画道路整備に係る財源の構成



## ●よくある質問

### Q1.都市計画道路が整備されるとどうなるの？

A：交通渋滞や生活道路に流入する車が減るだけでなく、街路樹による多くのみどりの創出や自転車レーンの整備、無電柱化を行うことで、快適で安全な歩行者空間などが生まれます。また、大きく発展する大都市東京にあって、全体の道路ネットワークとつなげることで、練馬区発展の基盤としていきます。

### Q2.練馬区には何故、狭い道路が多いの？

A：原因は色々ありますが、人口が急増した高度成長期に道路整備が進まない中で、道路用地の確保が十分に出来ないまま、宅地化が進んだことなどがあります。

### Q3.超高齢社会が更に進む中で、道路整備が必要なの？

A：区の平成 27 年度歳出予算では、高齢者福祉などの保健福祉費(30.4%)、子ども家庭費(22.2%)、教育費(11.1%)だけで6割以上の割合となっています。道路を含む都市インフラについては、区民からも整備に対する要望が多く寄せられています。超高齢社会が進む中、良好な都市環境を後世に残していくためにも、道路の整備が必要不可欠です。

### Q4.都市計画道路の整備のために、過大に事業費を使ってないですか？

A：現在、区が都市計画道路の整備にかけている事業費は、一般会計予算全体の約 0.5%です。将来にわたり練馬区を持続可能な都市としていくためにも、今後も国や東京都の補助金などを活用しながら、より一層必要な道路整備に取り組んでいきます。

このパンフレットに関するお問い合わせは

**練馬区 都市整備部 交通企画課**

電話 03-5984-1274 (直通)

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。